

施設基準で定められている掲載事項

電子的診療情報連携体制整備加算について

当院は、医療 DX を通じた質の高い診療提供を目指しております。

- ✓オンライン請求を行っています。
- ✓オンライン資格確認システムにより取得した医療情報を診察室で閲覧または活用して診療をできる体制を実施しています。
- ✓マイナ保険証利用を促進するなど、医療 DX を通じて質の高い医療を提供できるよう取り組んでいます。
- ✓電子処方箋の発行や電子カルテ共有サービスなどの取り組みを実施してまいります。

地域支援・医薬品供給対応体制加算について

当院は、後発医薬品使用体制加算を取得し、後発医薬品を積極的に採用しております。

昨今、医薬品の供給が不安定な状況です。供給状況によっては投与する薬剤を変更するなど、治療計画等の見直しを行い適切に対応します。

薬剤の変更を行う際は医師・薬剤師より説明させていただきます。ご理解ご協力をお願いいたします。

一般名処方加算について

当院では、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みなどを行っています。

現在、一部の医薬品について十分な供給が難しい状況が続いています。後発医薬品のある医薬品につきまして、特定の医薬品の供給が不足した場合であっても、患者様に必要な医薬品が提供できるよう、薬剤の有効成分をもとにした「一般名処方」※を行う場合があります。

※「一般名処方」とは、「商品名」ではなく「有効成分」を処方箋に記載することです。

ご不明な点がございましたら受付までお問い合わせください。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

生活習慣病指導管理料における「リフィル処方箋」「長期処方」について

リフィル処方箋とは、医師が指定した一定期間内であれば同じ処方箋を繰り返し薬局で使える処方箋です。長い間同じ薬を飲んでいるなど症状が安定し、通院をしばらく控えても大丈夫と医師が判断した場合が対象です。

最大3回まで使うことができ、2回目、3回目は医師の診察なしでお薬を受け取ることができます。

また患者様の状態に対して28日以上長期処方の対応も可能です。

ご希望の方は主治医へお尋ねください。

※投薬量に限度のある医薬品や湿布薬等は、リフィル処方箋の対象外となるものがあります。

機能強化加算（かかりつけ医）について

当院は地域におけるかかりつけ医として次のような診療を行っています。

- 予防接種や健康診断の結果等について健康管理に関するご相談に応じています。必要に応じて、専門の医療機関をご紹介します。
- 保健・福祉サービスに関するご相談（介護保険の利用等）に応じています。
- 体調不良時（夜間・休日含む）の電話等による問い合わせに対応しています。

- 必要に応じて、受診されている他の医療機関や処方されている医薬品を把握させていただくため、お薬手帳のご提示やご質問をさせていただく場合がございます。予めご了承ください。
- 医療機能情報提供制度を利用してかかりつけ医機能をもつ医療機関が検索できます。
- 地域みなさまが医療機関の情報を閲覧し、診療の選択に活用いただくためのシステムです。

その他

- 当院では、安全な医療を提供するために、医療安全管理者等が医療安全管理委員会と連携し、より実効性のある医療安全対策の実施や職員研修を計画的に実施しています。
- 当院では、感染制御のチームを設置し、院内感染状況の把握、抗菌薬の適正使用、職員の感染防止等を行い、院内感染対策を目的とした職員の研修を行っています。
- 当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報適切に管理することを社会的責任と考えます。個人情報保護に関する方針を定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。
- 当院では、患者さんが安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、施設間の連携を推進し退院のご支援を実施しております。
- 当院では、医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組として下記の事に取り組んでおります。医師と医療関係職種における役割分担に対する取組み、医療関係職種と事務職員等における役割分担に対する取組み、医師の負担軽減に対する取組み、看護職員の負担軽減に関する取組み
- 当院では屋内外を問わず、「病院敷地内全面禁煙」となっておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 6 月 1 日
医療法人 辰川会 山陽病院

【夜間・休日に受診される患者様へ】

院内トリアージ実施体制加算について

当院では、夜間や休日等に受診された患者様の体調や安全を最優先に考えるため、「院内トリアージ」を実施しております。

◆ 院内トリアージとは

来院された患者様の症状を専門スタッフが確認し、治療の緊急度(お体の状態)を判定する仕組みです。これに基づき、緊急性の高い患者様を最優先で診察いたします。

◆ 実施時間帯

平日:18:00 ～ 翌朝 7:59/日曜・祝日:終日

◆ 対象者

救急用の自動車(救急車)等により緊急に搬送された患者さま以外

◆ 患者様へのお願いとご理解

- ・お体の状態によって、診察の順番が前後したり、お待ちいただく時間が長くなったりする場合がございます。
- ・待ち時間の間に少しでも具合が悪くなった場合は、遠慮なくすぐにスタッフへお声がけください。

◆ 診療費について

厚生労働省が定める診療報酬規定に基づき、「院内トリアージ実施体制加算(50 点)」が診療費に加算されます。

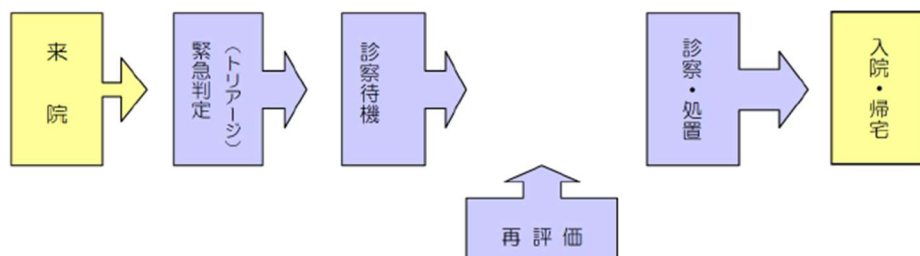
患者様の安全な医療のため、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

緊急度判定レベル症状の特徴例再評価の目安

トリアージ分類表(JTASに準拠)

緊急度判定レベル	症状の特徴例	再評価の目安
蘇生	生命または四肢・臓器が危篤状態で、直ちに対応が必要な状態	治療の継続
緊急	生命または四肢・臓器が危篤状態に陥る危険性が高く、早急に初期対応が必要な病態	15分ごと
準緊急	バイタルサインは安定しているが、長時間待てない状態	30分ごと
低緊急	緊急性が低く、診察までに1～2時間程度待てる状態	1時間ごと
非緊急	緊急性や病態の憎悪は考えられず、診察まで長時間待てる状態	2時間ごと

【受診の流れ】



2026 年 10 月 1 日
医療法人辰川会 山陽病院